

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（1）公共投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

12月の公共工事請負金額は、前年を下回った。県などの発注が減少した。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2023 年 3 月	6 月	9 月	2023 年 10 月	11 月	12 月
山形県	▲21.8	9.2	▲3.1	▲39.2	29.2	▲24.8

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）p は速報値、r は前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（2）設備投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

12月短観における2023年度の設備投資計画をみると、製造業が9月短観から大幅な上方修正となったことから、全産業が前年比プラスに転じた。

この間、11月の建築着工床面積（民間非居住用）は、運輸、農林水産業は増加したものの、製造業、医療・福祉、卸売・小売などが減少したため、前年を下回った。

（図表2）県内企業の設備投資額（2023年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2021 年度(実績)	2022 年度(実績)	2023 年度(計画)
全産業	62.4	▲16.9	3.6< 12.5>
製造業	7.2	100.8	▲3.3< 23.3>
非製造業	101.7	▲61.2	16.9<▲1.5>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

（図表3）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2022 年 12 月	2023 年 3 月	6 月	2023 年 9 月	10 月	11 月
山形県	▲44.8	▲50.0	▲77.1	▲30.2	29.1	▲30.5

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費 ・ ・ ・ 回復している

11月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、15か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、32か月連続で前年を上回った。一方、コンビニエンスストアとホームセンターは、前年を下回った。

（図表4）百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2023年 1～3月	4～6月	7～9月	2023年 9月	10月	11月
全店	2.0	4.4	6.7	6.6	6.0	4.4
既存店	0.0	0.8	2.8	2.6	2.0	0.7

＜資料＞経済産業省

12月の乗用車新車新規登録・届出台数は、16か月連続で前年を上回った。

（図表5）乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 10月	11月	12月
乗用車 合計	22.1	21.4	8.6	8.6	8.6	9.2
普通車	40.7	51.9	13.9	22.8	36.2	18.3
小型車	4.0	9.4	7.6	6.6	▲5.1	1.1
軽四輪	22.0	7.5	5.2	0.2	▲0.5	6.5

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

(4) 住宅投資 ・ ・ ・ 横ばい圏内の動きとなっている

11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家が減少したため、前年を下回った。

（図表6）新設住宅着工戸数

前年比、%

	2022年 12月	2023年 3月	6月	2023年 9月	10月	11月
山形県	6.6	68.0	15.1	1.4	12.5	▲21.1
持家	▲14.9	29.1	▲4.7	▲17.3	5.9	▲15.1
貸家	8.5	223.8	▲36.1	41.2	57.1	▲12.3
分譲	69.6	133.3	193.8	6.1	▲38.8	0.0

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

10月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、非鉄金属、電気機械など9業種で低下したものの、化学、金属製品など13業種で上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った。

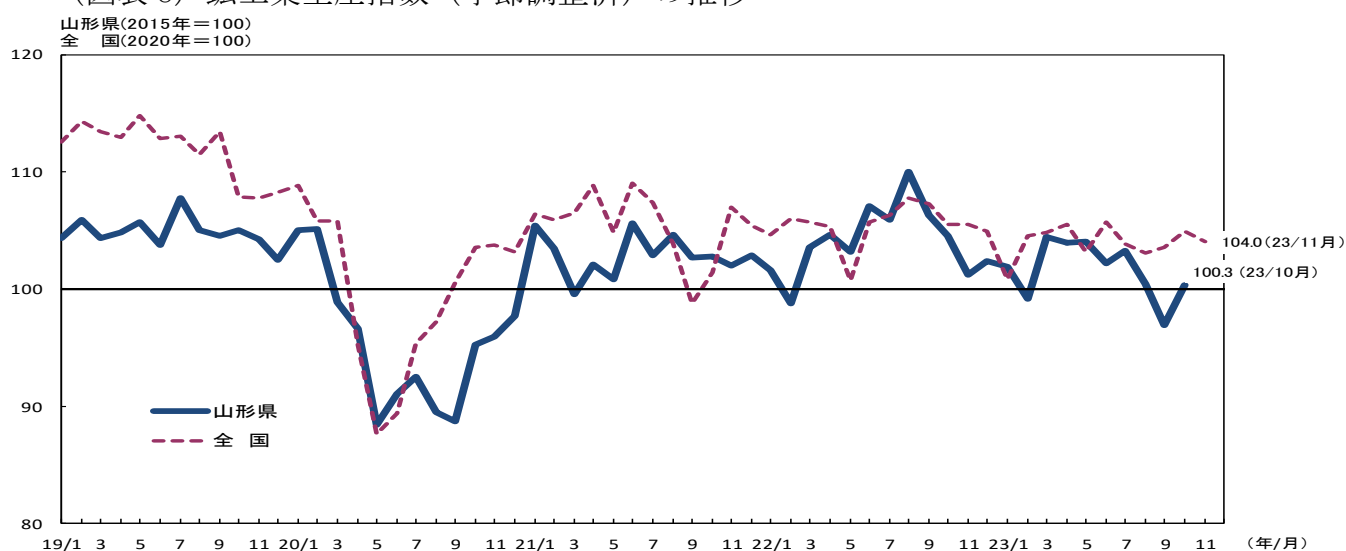
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2022年 12月	2023年 3月	6月	2023年 8月	9月	10月
生 産	季節調整済前月比%	1.2	5.2	▲1.7	▲2.8	▲3.5	p 3.5
	原指数前年比%	▲2.3	0.8	▲4.5	▲8.8	▲9.0	p ▲2.3
在 庫	季節調整済前月比%	0.1	4.6	3.4	4.3	▲1.6	p 2.9
	原指数前年比%	14.6	16.3	13.8	10.3	6.4	p 5.4

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.33倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸売・小売、製造業、サービス業などで減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2023年 1～3月	4～6月	7～9月	2023年 9月	10月	11月
有効求人倍率	1.46	1.40	1.40	1.40	1.38	1.33
完全失業率	2.1	1.7	1.5	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

10月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2022 年 12 月	2023 年 3 月	6 月	2023 年 8 月	9 月	10 月
常用雇用指数	1.7	1.4	0.3	0.8	0.5	0.7
所定外労働時間	0.5	▲0.9	▲10.2	▲6.0	▲12.3	▲7.9

<資料>山形県

10月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与は、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2022 年 12 月	2023 年 3 月	6 月	2023 年 8 月	9 月	10 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	6.4	1.3	8.2	1.5	1.3	1.1
きまって支給 する給与	3.3	1.5	2.4	0.7	0.2	1.4

<資料>山形県

5. 企業倒産 ・ ・ ・ 低水準ながら前年比増加

12月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 5 件、負債総額は 17.3 億円となった(前年同月は 4 件、1.9 億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山 形 県	2023 年 3 月	6 月	9 月	2023 年 10 月	11 月	12 月
件 数	3	5	12	3	1	5
負債総額	0.8	10.4	40.8	0.8	0.1	17.3

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価 ・ ・ ・ 前年を上回った

11月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020 年基準、前年比、%

山 形 市	2022 年 12 月	2023 年 3 月	6 月	2023 年 9 月	10 月	11 月
総 合	3.9	3.3	3.4	3.4	3.8	3.2
生鮮食品を除く総合	3.8	3.2	3.5	3.0	3.1	2.8

<資料>山形県

7. 金融

11月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、貸出金利は低下した。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山 形 県	2022 年 12 月	2023 年 3 月	6 月	2023 年 9 月	10 月	11 月
実質預金+CD (末残前年比)	0.8	1.3	0.7	1.5	0.8	0.5
貸出金 (末残前年比)	2.0	2.1	2.3	3.5	3.2	3.3

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山 形 県	2023 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	2023 年 9 月	10 月	11 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.006	▲0.020	0.016	0.002	0.003	▲0.005

11月末水準
0.867%

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL : 023-622-4004